

災害からいのちを守る赤十字



平成28年熊本地震 全国から集結した救護班が、各活動現場へ向かいました。

日本赤十字社が実施する国内の災害救護活動、
救急法などの講習普及事業、青少年赤十字活動、
国際救援活動など様々な活動は、国や県などの補助金によらず、
赤十字の活動にご賛同いただいた皆様からの社費や
寄付金によって実施されています。

活動資金へのご協力、ありがとうございました。



日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

＋あなたが支える赤十字活動

「苦しんでいる人を救いたい」

傷つき苦しむ人に敵も味方もない。

150年前に戦場で芽生えた赤十字の考えは、今では人間のさまざまな痛み・苦しみ・悲しみに手を差し伸べる活動へと広がりました。

日本赤十字社は、常に社会のあらゆるシーンに目を向け、救いを必要とする人々のために人道的支援活動を展開しています。



平成28年熊本地震
成田赤十字病院からも救護班を派遣しました。



平成28年熊本地震
発災直後から救護活動の最前線で活動しました。

赤十字はみなさまにお寄せいただいた
活動資金に支えられています

- 災害救護体制の充実・強化
- 健康・安全のための知識と技術の普及
- 青少年赤十字の活動
- 赤十字精神と社旨の普及
- 医療事業の充実
- 国際活動の充実
- 赤十字奉仕団による活動
- 義肢製作所の運営
- 地域における赤十字活動
- 血液事業の推進



おかげさまで、平成27年度も国外、国内、県内で
様々な活動を行うことができました。
今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



国外の災害でも迅速に支援を行います(平成27年ネパール地震)



いのちと健康を守る知識を伝えます(水上安全法)



地域の高齢者へ友愛訪問も行います(赤十字奉仕団)



友達を助ける技術を学びます(救急法フェスタ)

平成27年度ご協力いただいた活動資金

649,431千円

平成27年度決算

収入総額 **840,582千円**

支出総額 **761,685千円**



収支差額の78,896千円については平成28年度の赤十字活動に使われます。決算額は千円未満を切り捨てているため、合計額とは一致しません。

平成28年熊本地震活動報告

日本赤十字社は発災直後から救護活動を開始、救護班207班(計1,600人)の派遣をはじめ、全国から支援を届けました。



毛布22,480枚をはじめ、救援物資を迅速に避難所へ届けました。



熊本赤十字病院には深夜も救急患者が次々に搬送されました。

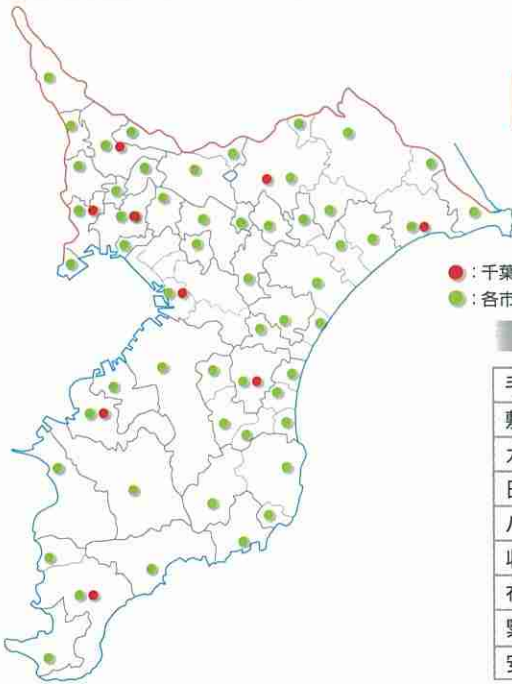


キッズルームを開設し、子どもたちにもこころのケアを行いました。



各地の避難所で巡回診療を実施しました。

災害時に備え、日本赤十字社千葉県支部では、県内9か所の拠点倉庫に救援物資を備蓄しているほか、県内各市町村にも救援物資を備蓄しています。また、医師・看護師等からなる救護班を常備し、災害発生時に直ちに被災地へ派遣する体制を整えています。



救援物資備蓄状況

- : 千葉県支部管理の災害救援物資拠点倉庫(9市9棟)
- : 各市町村で備蓄されている災害救援物資

千葉県内救援物資の総数

毛布	31,320枚
敷布	4,400枚
ガーゼケット	4,780枚
日用品セット	2,990組
バスタオル	5,300枚
収納袋	300枚
布団セット	50セット
緊急セット	1,494組
安眠セット	1,565組

(平成28年3月末 現在)

救護班 14個班



災害救援車両 18台



安眠セット



緊急セット



災害時用毛布

